

第84号

し ら さ ぎ

信頼関係を

保護者会長 服部 仁

暑い夏がやって来ました。今年の夏は人びとに取って切羽詰まった環境へと変化しています。東日本大震災を端に原発問題で電力不足が懸念され、日本中が揺れに揺れつつ原発の是非が問われています。この異常な夏を乗り切るためには電気なくして生命を保てる訳がありません。医療現場は然り、すべての社会産業に及ぼす電力不足の影響は計り知れないものです。

当園にしても、計画停電が実行されるようなことが起こると、園内外に混乱と支障が生じるであろうと考えられます。そんな事態が起きないように英知を絞り、対策を講じることです。脱原発の方向性を模索する動きもありますが、自己防衛策として何らかの方法を見つけねばならないと保護者として思っています。学園側の節電の励行と併せて発電機の導入等の自衛策の実行に安堵の思いを新たにしたいところです。

さて、今年度の保護者会総会でも一言述べさせて頂きましたが、この度、学園にスプリンクラーが設置出

来しました。保護者の皆様から絶大なご賛同を得まして施設負担全額を寄付させて頂きました。この寄付行為はお互いの信頼関係がなくして成り立つものではありません。これまでから、そんな気持ちで学園をバックアップして参りました。これも我が子のため、利用者のためと親心で積極的に支援させて頂いております。また、学園の基本理念でもある「安全」、「安心」、「安楽」の条

項のうちの安全、安心は何物にも代えがたい鉄則です。スプリンクラーの完成に伴い、利用者にとっては一つの安全が確保されたものだと喜んでいきます。私達保護者は二十七年もの間培ってきた学園との絆は切っても切れないものだとは強く感じています。それを信頼関係と呼べさせて頂きます。信頼関係は取えて一枚岩でなくてはなりません。

以前、そんなことを覆す事柄がありました。信頼関係が欠如すると人間不信に陥ってしまいます。そして人間関係が欠如すると、信頼関係も損ないます。そんなことがないようお互いに信頼関係を再構築し直

す努力をしなければなりません。努力とは自分の足元をしつかり見極めることだと思えます。学園と保護者会は車の両輪と表現しても過言ではないと思えます。

自立支援法の見直しによって新法が成立しましたが、今は「園生」ではなく、「利用者」と呼んでいます。法そのものがそのように位置づけられています。主役は職員でも保護者でもなく利用者であることを強調しているということです。

それから、日帰りバス旅行についても、これまでの一泊旅行の他に利用者のニーズに合わせて、新しい行程を計画していただいております。一泊旅行については前々より見直し論も出ていたもので、アンケート調査も致しましたが、利用者の高齢化と保護者の高齢化などで、見直しを余儀なくされております。今年度は二班に細分化すると共に、比較的行きやすい所となっています。

今年の場合にはモデルケース的ではありませんが、今後もバス旅行を継続することで予算不足を来すことから、若干の会費のアップをお願いした次第です。

これからも保護者会は施設充実のため惜しみない努力をする心算です。何故なら利用者のために…何故なら信頼関係再構築のために…です。



丹後の田圃という田圃の田植えが殆ど終了して「緑なす田圃」とでもいいようなような素敵な光景が風薫る初夏の爽やかなさの中に展開していた5月18日の朝まだき、利用者18名とその親族10名の希望と夢を載せたバスは当園を発って、一路大阪へ向かいました。

朝寝坊タイプの吉岡さん、木村さん、永井さん、橋さんもこの日は気力充実して、行動がテキパキです。人間の期待はその人を変えます。職員はその姿を見て、介護や支援を提供する前に「期待」を、ワクワクドキドキ痺れるような「期待」を提供する必要を悟るのでした。「飛行機が見える!」、「あのビル高い!!」目的地に到着する前に、平日頃目にするのではない都会の風景に職員・親族を含めて視線はアッチに行ったりコッチに来たりと定まりません。

大阪南港の埋め立て地に立地するユニ

生活支援員 藤田 泰弘



5月6日、毎年恒例の保護者交流会を実施いたしました。当日の朝は想像もしていなかったほどの大雨が降り、屋外での開催が一時中止になってしまいう程でした。しかし、利用者の方々の想いが空に届いたのか、嘘のような快晴になり、無事に屋外で開催でき、大変喜ばしい限りでした。

今年も昨年同様にお弁当にさせていただきました。見ただけにも美味しく作ってもらい、非常に満足できたと思います。そして、時間にも余裕が出来た為、昨年の交流会以降から職員も多数増え、ホーム担当の変更があったこともあり、今まで殆どお話しも出来なかった保護者の方々とも新たな交流をさせていただく事が出来ました。食後のゲームに於きましては、趣向も新たな人の体に風船を貼り付ける「風船貼り」という学園オリジナルゲームを行いました。風船に戦々恐々となりながらも貼り付けている利用者の方々には笑顔が見られ、楽しんでいただけました。

今後も皆様が交流会の時の笑顔でいつでもでも過ごせるように、職員一同で励んでいきたいと思っております。

生活支援員 吉田 雄三

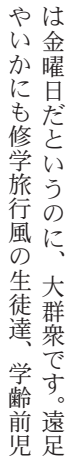


バス旅行を楽しみにしていた利用者の皆さん、参加なさったお家の方達ありがとうございました。どうでしたか?

最後にバス旅行を楽しみにしていた利用者の皆さん、参加なさったお家の方達ありがとうございました。どうでしたか?

最後のバス旅行を楽しみにしていた利用者の皆さん、参加なさったお家の方達ありがとうございました。どうでしたか?

生活支援員 植松 ひろ子



ザックリと割ったスイカの鮮やかな色に夏を実感します!さて、青空の広がる自然の中、6月1日に飯盒炊飯が行われました。自然とふれあいながら普段とはちがう生活体験をおして、利用者の方々のまたちがう一面を見ることができました。それぞれカマド、調理などのグループに分かれて準備から後始末まで汗をかきながら何度も裏山へ往復しました。いつも室内で同じ角度からしか見ていなかったその表情はとても張り合いのあるいい顔でした。またその反面、みんなで行動を共にしていくことの大変さも実感しました。気持ちを言葉で表現できない利用者さんは、不安定になり思うように動いてくれなくなったり:当日のスタッフであった私はスムーズに行事が進むことばかり頭にあり、追い詰めてしまったり、急がせてしまったりしたのではないだろうかと反省をしています。このことから利用者さんの気持ちを察して、安心感を与えるように関わることの大切さ、また人の気持ちに敏感で、支援者である私に不安であれば接してもらっている利用者さんにも不安を感じられるものだと実感しました。今後は、1日も早く一人ひとりの利用者さんをよく知り対応できるようにしなければと思います。最後に飯盒炊飯に参加していただいた第三小学校7名の児童の方から「カマドづくりは不安だったけど利用者さんと力を合わせて作ることができてうれしかった。また僕たちを呼んでね」と心温まる言葉もいただきました。ある本で「僕にとつての障害とは何か・障害は僕の一部。自閉症であることは別に不幸なことではない。自分らしく生きていくことができるから。しかし、障害を理解されない社会で生きていくことが大変なんです」という一節があり

生活支援員 植松 ひろ子



ましたが、第三小学校の児童の皆さんのように当園の地域行事に参加いただき少しでも障害を理解していただければと思います。今後も利用者の方々と地域のみならず仲良く安心して穏やかに暮らしていけるよう願っています。楽しい1日ありがとうございました。



生活支援員 齋藤 幸子



あゆみが丘学園にお世話になり早1年が経とうとしています。年間を通じ色々な行事があるなか7月にあったバス遠足に行かせて頂きました。

行き先はイオンモール京都と今大人気の京都水族館。大型バスに乗り込みいつもよりお洒落をしている利用者さんと保護者の方。職員で7時に学園を出発途中やまがた屋で休憩し10時過ぎには都ホテル前のバスターミナルに到着しました。バスから降りてみんな足早にイオンモール京都に向かいました。到着しだい自由行動で、利用者さんと服を選んだり雑貨を見たり楽しく買い物をしているとおつという間にランチの時間を終えようという集合時間。急いで集合場所に行き少し休憩。とても広いところだったので決められた時間での買い物は目が回りそうでした。

そんなこんなでまたバスに乗り込み京都水族館。いろんな魚やオットセイを見て最後にイルカのSHOWに一同大興奮!!の満足をとても楽しかったです。天気にも恵まれ、とはいかず途中からはあいにくの雨で少し濡れてしまいう小ハブニングがあったものの、ほぼ時間通りに学園に帰ってこることができました。みんな楽しかった。楽しい経験させて頂きほんとうにありがとうございます。ありがとうございました。



お知らせ

4月よりお世話になってます4名のフレッシュ職員の熱い抱負を紹介させていただきます

生活支援員 中西 盛人 (まつの木ホーム)

学校の先生を離れ、4月からあゆみが丘学園でお世話になることになりました。子ども達から一変して利用者の方々と関わることは、とても新鮮であると同時に勉強の毎日です。少しでも早く利用者の方々の障害を理解し、信頼関係を築いていきたいです。前の職場での経験を生かして、自分にしか出来ない支援をしていきたいと思っています。今後ご迷惑をかけることもありますが、よろしくお願ひします。

生活支援員 片岡 倫子 (たんぼホーム)

4月よりあゆみが丘学園に支援員としてお世話になり、3ヶ月がたとうとしています。最初は本当にわからない事だらけで、何をやるのかもまだ慣れながら、聞きながらでした。やっと少し慣れてきて利用者、職員の皆さんと楽しく過ごしながら働かせて頂いています。37歳にして支援員というやりがいのある仕事につけた事をうれしく思います。これからもよろしくお願ひします。

生活支援員 増田 由巳子 (スモスホーム)

「元気で明るい人」という求人広告を見て直ぐに学園を訪ねました。その時玄関で「こんにちは」と何人も声を掛けてくれました。まだ2ヶ月少しいますが毎日元気に明るくお仕事をさせて頂いていきます。これも毎日出勤時に「おはよう」と会う人皆にあいさつをもらい気持ちよく迎えてもらっているからだと思います。仕事内容は沢山あって、いい歳の私は大変ですが、先輩職員の皆さんにご指導を頂きながら役に立つ人間になりたいと思っております。宜しくお願ひ致します。

生活支援員 岩崎 真衣 (もみじホーム)

5月よりあゆみが丘学園にお世話になっている19歳の岩崎真衣です。初めての支援の仕事をして2ヶ月で覚えることが多い中、支援の苦労して大変さを知りました。まだ慣れない仕事で苦労していますが充実した日々を利用者のみなさまとともに送らせていただいております。ちよつとずつですが支援の仕事ができるように日々努力をしながら少しでも利用者みなさまの役に立てるように一生懸命頑張りたいです。まだ慣れない仕事で色々なことでご迷惑をおかけしますが、これからご指導のほどよろしくお願ひします。



貸借対照表

平成24年3月31日現在

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	207,280,692	流動負債	15,861,410
現金預金	147,022,698	未払金	13,646,436
現金	206,988	預り金	2,214,974
預金	8,315,710		
定期積金	43,500,000		
定期預金	95,000,000		
未収金	60,257,994		
固定資産	627,724,320	固定負債	58,285,787
基本財産	389,301,296	設備資金借入金	10,000,000
建物	284,109,468	退職給与引当金	48,285,787
建物附属設備	2,218,521		
土地	102,973,307		
その他の固定資産	238,423,024		
建物	31,908,693		
建物附属設備	48,412,173		
構築物	18,713,452		
機械及び装置	1,711,964		
車輛運搬具	7,710,578		
器具及び備品	7,017,183		
権利	348,671		
ソフトウェア	27,195		
移行時積立預金	92,000,000		
退職共済預け金	30,314,955		
長期前払費用	258,160		
資産の部合計	835,005,012	負債及び純資産の部合計	835,005,012

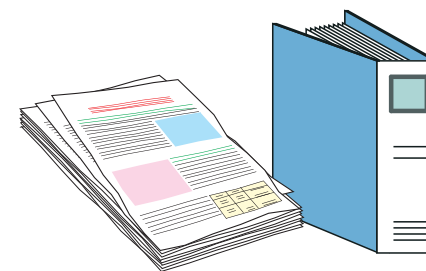
〔脚注〕 1. 減価償却費の累計額 421,499,261円



資金収支計算書

(自) 平成23年4月1日 (至) 平成24年3月31日

勘定科目		決算
経営活動による収支	収入	
	自立支援費等収入	288,286,460
	経常経費補助金収入	7,024,965
	寄附金収入	15,232,000
	雑収入	4,357,643
	借入金利息補助金収入	393,750
	受取利息配当金収入	91,128
	経常収入計①	315,385,946
	支出	
	人件費支出	181,142,133
事務費支出	20,963,695	
事業費支出	50,784,904	
借入金利息支出	393,750	
経理区分間繰入金支出	218,098	
経常支出計②	253,502,580	
経常活動資金収支差額③=①-②	61,883,366	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等補助金収入	37,209,000
	施設整備等収入計④	37,209,000
支出		
固定資産取得支出	57,069,040	
施設整備等支出計⑤	57,069,040	
施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	-19,860,040	
財務活動による収支	収入	
	借入金元金償還補助金収入	2,500,000
	積立預金取崩収入	58,890
	その他の収入	8,540
	財務収入計⑦	2,567,430
支出		
借入金元金償還金支出	2,500,000	
その他の支出	3,307,463	
財務支出計⑧	5,807,463	
財務活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	-3,240,033	
当期資金収支差額合計⑩=③+⑥+⑨	38,783,293	
前期末支払資金残高⑪	152,635,989	
当期末支払資金残高⑩+⑪	191,419,282	



事業活動収支計算書

(自) 平成23年4月1日 (至) 平成24年3月31日

勘定科目		本年度決算
事業活動収支の部	収入	
	自立支援費等収入	288,286,460
	経常経費補助金収入	7,024,965
	寄附金収入	15,232,000
	雑収入	4,357,643
	借入金元金償還補助金収入	2,500,000
	引当金戻入	0
	国庫補助金等特別積立金取崩額	13,626,280
	事業活動収入計①	331,027,348
	支出	
人件費支出	181,142,133	
事務費支出	20,972,235	
事業費支出	50,784,904	
減価償却費	31,552,311	
引当金繰入	3,132,422	
事業活動支出計②	287,584,005	
事業活動収支差額③=①-②	43,443,343	
事業活動外収支の部	収入	
	借入金利息補助金収入	393,750
	受取利息配当金収入	91,128
	事業活動外収入計④	484,878
	支出	
借入金利息支出	393,750	
経理区分間繰入金支出	218,098	
雑損失	0	
事業活動外支出計⑤	611,848	
事業活動外収支差額⑥=④-⑤	-126,970	
経常収支差額⑦=③+⑥	43,316,373	
特別収支の部	収入	
	施設整備等補助金収入	37,209,000
	固定資産売却益	0
	特別収入計⑧	37,209,000
支出		
固定資産売却損・処分損	76,368	
国庫補助金等特別積立金積立額	36,709,000	
特別支出計⑨	36,785,368	
特別収支差額⑩=⑧-⑨	423,632	
当期活動収支差額⑪=⑦+⑩	43,740,005	
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額⑫	152,964,222
	当期末繰越活動収支差額⑬=⑪+⑫	196,704,227
	基本金取崩額⑭	0
	基本金組入額⑮	0
	その他の積立金取崩額⑯	0
その他の積立金積立額⑰	0	
次期繰越活動収支差額⑱=⑬+⑭-⑮+⑯-⑰	196,704,227	

事務だより

平成二十四年三月六日

平成二十四年七月十日 (敬称略)

【寄贈】

青木農園、大宮中学校、岡田福治、佐藤弘和、四方秀夫、早瀬育代、藤田進、望月政孝、水口組

【納涼祭協賛社】

(有)アクアシステム・(有)アクティブジャパン・韋城製作所(株)・いととめ(株)・上西本間税理士法人・おのみや苑・(株)オートブラザイシコ・オリックス・(株)オリーブズ(株)・金子産業(株)・金下建設(株)・桔梗屋醤油(株)・(株)京キエウ・小林プロパン(有)・(有)コマキデンキ・三丹商事(株)・三洋商事(株)・シラキ(株)・たかた・田崎書店・たつみ印刷・玉岡(株)・玉木石油・保工業・丹後乳販(株)・中西でんき・野村理容院・橋田建設(株)・橋本設備・平井電気(株)・平林乳業(株)・京都北都信用金庫大宮支店・マツダ・丸中観光バス(株)・水口組(株)・山寅組(株)・ヤマモト(株)ルコモコ

リサイクル作業

(アルミ缶・銅線・フルトツプ
ヘルマーク・古紙回収)
ご協力ください



平成二十四年四月一日
平成二十四年八月一日 (敬称略)

安達電気、明田地区の皆さん、遊地区の皆さん、安達酒店、新井孝弘、掛津区観光部、池田勝信、五十河地

区の皆さん、五十嵐商店、生野電気、今西久野、今西洋服店、井上五朗、稲岡靖子、芋野地区の皆さん、糸井泉、石河(有)、糸井初美、いととめ、EAT店、和泉登喜雄、和泉秀雄、井野建設、井上義昭、今井好子、今井久男、いより庵本店、岩佐利夫、梅田歯科医院、梅田辰行、梅田高志、梅田徳五郎、上田ひとみ、えびす電気工事店、エナジーランド大宮、エルクラブ・オオミヤ、岡島三協製作所、オギノ電機、尾江充洋、大江純一、大江仙治、岡田喜美子、大宮北保育所、大宮南保育所、大宮第一小学校、大宮第三小学校、奥田光秀、おしほり店田村、岡田福治、岡田嘉則、大河和子、大西勲、大西一子、金子産業(株)、柿本春恵、河島食料品店、川村義一、菊岡義和、木佐喜織物(株)、木崎弥生、喫茶・お茶のみ友だち、京キエウ、口大野地区の皆さん、小牧英次郎、小池食料品店、河野哲朗、小笹ふさ子、小牧俊介、後藤鉄工所、コマキデンキ、小牧義正、米トウタイル、小林秀樹、小西デンキ、ザグランリゾート天の橋立、サニーアイランド、山翠園、笹岡昭義、笹岡儀和、佐藤勝、芝原商店、四方秀夫、シルクロード、シラキ、白杉寅雄、獅子崎益二、尉ヶ畑地区の皆さん、諏訪部英美子、諏訪部秀雄、末次電気商会、隅倉住建、大道菓子店、館保弘、大同宏子、大同政守、大同敏剛、田上住与、田崎書店、谷口圭一、谷口勲、田中博久、田中恵、谷口廣、谷次義則、玉木明司、田中ます美、壇野一義、玉岡商店、丹後生糸、坪倉悟、でんき館やました、豊田定夫、富田

建築、中江美晴、中尾文雄、長尾道雄、中川貞治、中川利昭、永濱洋子、中村保徳、永井清志、新田良文、西田建設、西原謙次、橋本耕二朗、番場電気商会、萩原誠、畑中酒店、服部仁、日達利雄、平林かよ子、平林善一、平井電気、広野清孝、フルーツ王国やさか、フリーク、堀鉄工所、堀敏雄、堀保彦、ホリロク(株)、堀博昭、増鍊工業(株)、まるぜん書店野田川店・加悦店、マジカル、丸中観光バス、松崎幹二、水口進、水口組、宮尾倍行、三浦艶子、三重地区の皆さん、峰山鉄工所、森井俊子、森重俊、森岡伸行、森本地区の皆さん、山中信子、山本敏彦、山本京子、ヤマモト電化サービス、矢野一城、矢野一之、矢野幸子、矢野辰雄、矢野博、安田康之、安田豊、由利徳七、由利家電サービス、吉田電気工業、由利明人、横田悦子、吉岡設備(株)、吉岡電気商会、吉沢地区の皆さん、吉岡商店、吉村食料品店、よざ電工(株)、(株)ローソン大宮周知店・石川店・男山店、ワタマサ(株)、和田八重子

音楽レクレーション

月大正琴で音楽を楽しんでいます！

野村 恭子

今年の四月から、月に二回、第二、四週の日曜日、午前十時から十一時過ぎまで、大正琴を演奏する、リズム打ち、また、歌を歌ったりと音楽レクレーションに参加される利用者の方



達と良い時間を過ごしています。まずは『楽器を演奏させてあげたい！』との思いから…。できる事から無理をせずに少しずつ。できる事を増やしてあげられたらいいなと思います。回を重ねる事に、演奏をする格好もサマになりつつ、真剣に真面目に取り組んでおられます。そんな姿を、嬉しく思いながら、お付き合いをさせてもらっています。私一人ができる事などして頂きます。大勢の方に協力をして頂きながら、素敵に時間を過ごし、誰もが楽しみながら、自信に繋げられる様な活動にしていけたら…。と考えています。

編集後記

連日うだるような暑さが続きます。熱中症にならないように水分と塩分をしっかり取り、夏の暑さに負けないで乗り切りたいです。